

標的型メール 訓練サービス

訓練メールで標的型メールの対策

標的型メール攻撃の擬似体験訓練を行うことで、
マルウェアの**感染率を大幅に低減**。
感染時の適切な初動対応で、**被害を最小化**。

標的型メール攻撃は、 社会的に影響が大きい脅威

標的型攻撃の被害がメディアで公表されるたびに、
さまざまな業種のお客さまが、対策を検討されています。

公的機関で
125万件の情報流出

旅行代理店で
793万件の情報流出

標的型メール攻撃に対する、 技術的な対策の限界

標的型攻撃に対して、技術的な対策を実施しても
100%防御することは難しく、限界があるのが実情です。

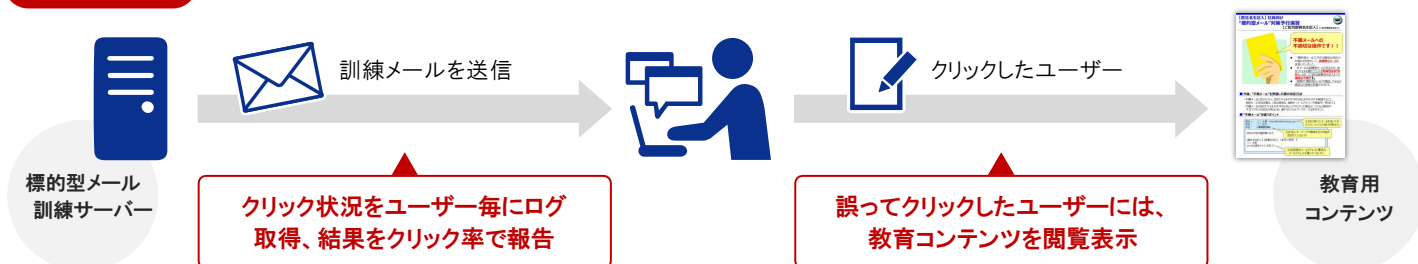
ウイルス対策ソフトでは
検知できない

PC・データが破壊される
などの症状が現れない

【 標的型メール訓練 】

訓練メールをユーザーに送信し、その初動対応を教育訓練するサービス

実施イメージ



詳しくは当社までお問い合わせください www.hitachi-solutions-create.co.jp/solution/mailtraining/



サービスの特徴と効果

標的型メール 訓練サービス

3つの特徴

柔軟なカスタマイズが可能

訓練メール本文、送信元、開封時コンテンツ、さらには訓練メールの送信間隔などについても、柔軟にカスタマイズすることが可能です。

手間をかけずに、効果の高い訓練を実現

豊富な訓練の実績から他社の実施事例をご紹介します。また、訓練・社内通知メールのテンプレートや、ヘルプデスク対応マニュアル等も準備しており、参考資料としてご利用いただけます。

エキスパートによる訓練サポート

標的型攻撃とメールのエキスパートが、トラブル対応や結果分析など訓練のさまざまなシーンで、お客さまをサポートします。

効果1 標的型メールのリスク レベルを評価、把握！

どの程度のユーザーが標的型メールを開封してしまうか、現状のリスクレベルを把握、評価が可能。

効果2 ユーザー端末のマルウェア 感染率を大幅低減！

過去実績では、継続的または複数回メール訓練を実施した場合、クリック率は半分～三分の一に低減。

効果3 感染時の初動対応を 徹底し、被害を最小化！

標的型メールを誤って開封した場合でも、適切な初動対応ができれば被害を最小化することが可能。

サービス提供実績（一部抜粋）

大規模～中小規模の実績あり

業種業態	規模	備考
製造業 A	110,000名	実施後、グループ会社各社へも展開。継続的に訓練を実施中
サービス業 B	2,000名	全社員に対してセキュリティ強化月間の中で実施
製造業 C	800名	同業他社の実施を知り、必要性を認識し、全社で実施

1M

訓練 スケジュール (例)

事前準備
(2W)

送信
テスト
(1W)

2M

訓練実施(1回及び2回)
(6W)

3M

訓練終了
アンケート
(1W)

報告書作成、送付
(2W)[※]

※ 報告会(オプション)を実施の場合は、報告書送付後に報告会を設定。

標的型メール訓練サービスは、グローバルセキュリティエキスパート株式会社のサービスです。

商品・サービスに関するお問い合わせ・ご相談受付

ウェブによる受付

www.hitachi-solutions-create.co.jp/inq.html

お問い合わせページより、商品・サービスをお選びください。

メールによる受付

hsc-contact@mlc.hitachi-solutions.com

※ ご相談・ご依頼いただいた内容は回答などのため、当社の関連会社（日立ソリューションズグループ会社）および株式会社日立製作所に提供（共同利用も含む）することがあります。取り扱いには十分注意し、お客さまの許可なく他の目的に使用することはありません。

※ 製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合がございます。

※ 最新情報は、当社ホームページをご参照ください。

※ 本カタログに記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

※ 本カタログの内容は、2019年4月現在のものです。

HSC201904

株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト

www.hitachi-solutions-create.co.jp/